

令和8年度までの目標	国語		算数	
	自校A B層の割合	60.0%	自校A B層の割合	60.0%
令和5年度までの成果	自校A B層の割合	47.8%	自校A B層の割合	44.8%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究を通して、国語科の「言語活動の工夫」に重点をおき研究し、そこで培ったスキルを他教科に取り入れ、自ら考え、学び合う児童の育成をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断テストを各学期2回ずつ実施する。 (4・5年生は江戸川区学力定着度調査を実施) ドリルパークを朝学習等で継続使用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区Study Weekと関連した取組として、「家庭学習週間」を各学期に2週間ずつ実施する。また、家庭学習の例示を行う。
特に支援が必要な児童への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」「聞くこと」に重点をおき、「話し方名人」「聞き方名人」など、話すことに苦手な児童も取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習教室事業者と連携して支援を実施する。 週一度の学級担任による補習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークを週末の課題とし、各児童にあった目標（回数、時間）を立て、実施する。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 3学期に行う国語学習のアンケートにて、「話すこと」「聞くこと」を「とても好き」「好き」と肯定的にとらえられる児童を90%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断テスト7割達成者を70%以上。 (4・5年生は江戸川区学力定着度調査で70%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査において「授業時間以外の勉強時間」が1時間以上の割合90%以上。